

境港市の防災対策

～防災への理解を深め、日頃から災害に備えましょう～

平成30年2月9日 まちづくり若者委員会資料

～地震・津波・原子力・弾道ミサイルなど～

防災体制の強化・整備

【現 状】

- ◆市では地域防災計画に基づき、事前対策、応急対策、災害復旧に努めます。
- ◆防災講演会や防災訓練、出前講座などにより、市民の防災意識の啓発に努めるとともに自主防災組織や防災リーダーの育成により、住民主体の防災力向上を図っています。
- ◆消防や警察等の関係機関との連携を強化し、防災体制の確立に努めています。

【取り組むべき課題】

- ◆「自助」 個々の家庭における日頃からの災害への備えの充実。
- ◆「共助」 自主防災組織の組織率向上と活性化。
- ◆「公助」 災害活動拠点や防災資機材等の整備、充実。

【施策の展開方針】

- ◆公共施設の整備、耐震化等による防災活動拠点や避難所の充実、強化。
- ◆防災士資格の取得支援など、防災リーダーの育成。
- ◆自主防災組織への活動費補助などにより活性化を図る。
- ◆高齢者や障がい者などの避難行動要支援者について、自主防災組織、民生・児童委員等と連携し支援体制を強化。

災害時 境港市の配備体制 (地域防災計画より)

事
態
進
展

種別	配備の基準(抜粋)	任務(抜粋)	本部設置
注意体制	<ul style="list-style-type: none"> ◆震度3の地震発生 ◆大雨・大雪注意報等 ◆島根原発でトラブル発生 	<ul style="list-style-type: none"> ◆情報収集・伝達 ◆防災担当職員の待機 ◆第1警戒体制への移行準備 	—
第1警戒体制	<ul style="list-style-type: none"> ◆震度4の地震発生 ◆大雨・大雪・暴風警報等 	<ul style="list-style-type: none"> ◆情報収集・伝達 ◆関係職員の参集 ◆第2警戒体制への移行準備 	災害警戒本部
第2警戒体制	<ul style="list-style-type: none"> ◆震度5弱の地震発生 ◆津波注意報 ◆台風の暴風域が通過する見込 ◆島根原発で警戒事態発生 	<ul style="list-style-type: none"> ◆情報収集・伝達 ◆関係職員の参集・警戒活動 ◆応急対策の実施 ◆非常体制への移行準備 	
非常体制	<ul style="list-style-type: none"> ◆震度5強以上の地震発生 ◆津波警報、大津波警報 ◆特別警報 ◆島根原発で施設敷地緊急事態、 全面緊急事態発生 	<ul style="list-style-type: none"> ◆情報収集・伝達 ◆全職員配備 ◆応急対策を実施 	災害対策本部

※警察署、消防署とは注意体制時点から情報共有し連携して取り組んでいます。

自助・共助・公助の連携による“減災”

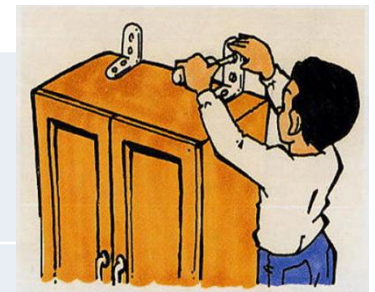
【減 災】

減災とは、震災などによる被害をできるだけ少なくするよう事前に万全な対策を立てておこうとする考え方。また、その取り組みをいいます。

【自助・共助・公助の連携】

自 助

「自らの安全は、自らが守る。」これが、防災の基本です。
自分の手で、自身・家族・財産を守る
備えと行動を自助といいます。



共 助

「隣近所で助け合って地域の安全を守る。」
これが、地域を守る、最も効果的な方法です。
近隣のみなさんで、救出・消火活動を早く始めるほど
被害を小さく抑えられます。近隣のみなさんと協力して、
地域を守る、備えと行動を共助といいます。



公 助

「行政や自衛隊、警察、消防など公的機関が行う、
市民の生命や、財産を守るための活動」のことです。

- ◆災害発生時は、救助活動や避難所の開設、救援物資の支給など
- ◆平常時は、災害の被害を軽減するための、避難所の指定や建物の耐震化、防災対策の周知など

※発災当初、公助
は対応困難です。

自主防災組織の現状と市の支援

市内の自主防災組織の状況

結成団体: 51組織(組織率 約79.6%)※H30.2.1現在

市の支援について

(1) 資機材整備費補助金

結成時及び結成後20年を経過した自主防災組織に対し、
防災活動に必要な資機材の購入費を補助します。

- ①助金額 4万円+(400円×世帯数) 上限20万円
- ②購入品目の例 誘導棒、誘導ベスト、メガホン、担架、リヤカー、消火器、救急箱、ビニールシート、毛布、スコップ、ロープ、コンロ、ガスボンベなど

(2) 活動費補助

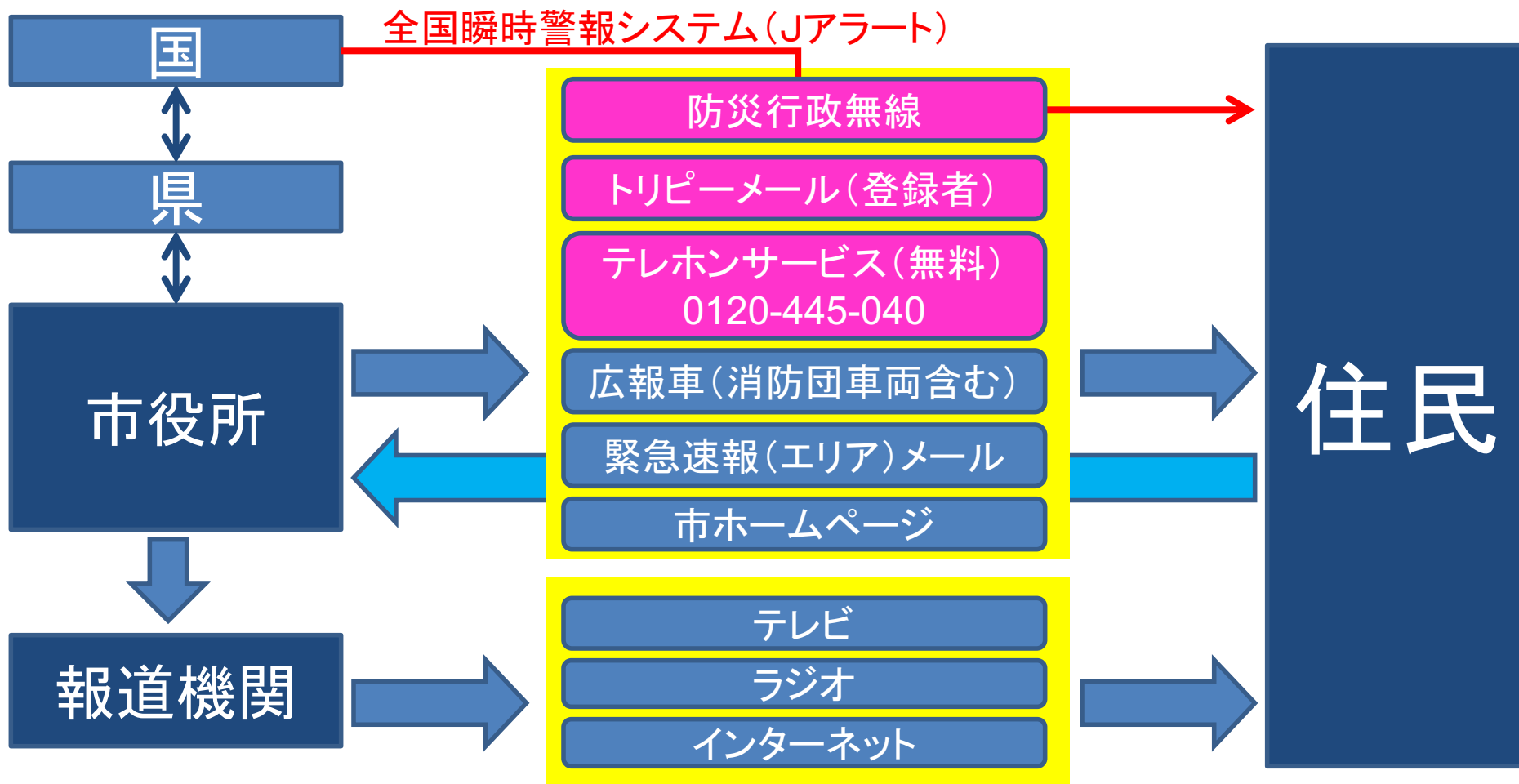
- ①対象経費 防災訓練、研修会等に係る経費
(例)炊き出し食材、会議印刷費・茶、防災書籍、消火器、ヘルメット、笛、ポケットライト等
- ②補助金額 実費補助(上限2~4万円/年)※参加者数により補助上限額が異なります。

(3) 訓練、研修の支援

市担当者が研修会で説明したり、消防署員、日赤等による防災研修を仲介したりしています⁵。



災害時の情報の伝達・収集について



Jアラート:ミサイル情報、津波情報、緊急地震速報等の緊急情報を、人工衛星を用いて国から市区町村の防災行政無線等を自動起動することにより、住民に伝達するシステム。

エリアメール:気象庁が配信する緊急地震速報や、国・地方公共団体が発する災害・避難情報などを、携帯電話に一斉に、メールアドレスを用いず、市区町村単位で指定されたエリアに配信するもの。

トリピーメール登録のお願い

あんしんトリピーメールとは、登録いただいた方の携帯電話・スマートフォン等に鳥取県内の配信を希望する防災情報等をメールでお送りするサービスです(登録後もいつでも変更可能)！

市(公民館放送を除く。)からの防災行政無線放送は、トリピーメールを活用して、メール配信しています。是非ご登録ください！！



e-tottori-safe@xpressmail.jp に空メールを送ると手続き開始！！

【トリピーメールの配信項目】

- ◆ 気象警報・注意報(大雨特別警報、大雨警報、大雪警報など)
- ◆ 地震情報(震度3以上)
- ◆ 津波情報(大津波警報、津波警報、津波注意報など)
- ◆ 防災・危機管理情報(災害情報(避難勧告等)など) ←市から配信
- ◆ ライフライン情報(停電情報など)
- ◆ 生活・健康情報(PM2.5、黄砂、花粉、熊等の目撃、熱中症など)
- ◆ 防犯情報(不審者、行方不明者情報など)
- ◆ 交通安全情報(交通安全に関する情報など) など

※配信情報の種類や地域を選択することができます。



<QRコードで簡単登録！>

地震への備え(日頃からできること)

非常持出品を揃えましょう！

●非常持出品(例)

- 避難グッズ
防災ずきん、笛、懐中電灯
携帯ラジオ等
- 飲料水・食糧
水、乾パン、缶詰、レトルト食品等
- 救急用品
救急医薬品、持病薬、常備薬等
- 貴重品
健康保険証・免許証などのコピー
- 生活用品
雨具、軍手、ライター、タオル、
生理用品等



★家族構成に合わせた準備をしましょう！

- ◇乳幼児用(粉ミルク、おむつ等)
- ◇要介護者用(補助具の予備等)
- ◇ペット用(ペットフード、ケージ等)



家の内外の安全対策をしましょう！

●家の中の安全対策

- 出入りが少ない部屋に家具をまとめ、安全なスペースを確保する。
- 出入り口や通路には、物を置かない。
- 寝室や子ども・高齢者等の部屋には、倒れそうな家具を置かない。
- 家具は転倒防止のため、金具等で固定をし、落ちやすい物を置かない。
- 食器棚等は、中の物が飛散しないよう対策をする。

●家の周辺の安全対策

- ベランダでは、植木鉢等は低い所に置くか固定し、経路確保に常に整理する。
- 窓ガラスに飛散防止フィルムをはる。
- 屋根のアンテナは、固定し、瓦のひび割れは補強をする。
- ブロック塀は、基礎や内部に鉄筋が無い物は補強し、破損や傾きは修理する。

地震対策

《緊急地震速報》

《緊急速報(エリア)メール》

まわりの人にも声をかけながら

地震の揺れを感じたら…
(緊急地震速報がなくても)

あわてず、まず身の安全を!!

緊急地震速報を見聞きしたら…
(地震の揺れを感じなくても)

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れがくるまでの時間は 数秒から数十秒 しかありません

家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない



自動車運転中は

- あわててスピードをおとさない
- ハザードランプを点灯し
まわりの車に注意をうながす
- 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす

緊急地震速報



人が大勢いる施設では

- 係員の指示にしたがう
- あわてて出口に走り出さない



屋外(街)では

- スロッキン塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



鉄道・バスでは

- つり革、手すりに
しっかりつかまる



エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させ
すぐにおりる



地震(震度と揺れの強さ)

4



[震度4]

- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が、倒れることがある。

5強

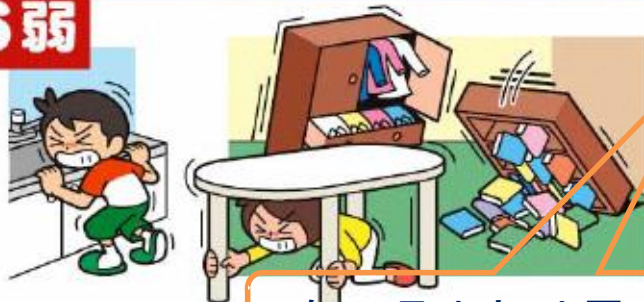


[震度5強]

- 物につかまらないと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。



6弱



鳥取県中部地震



耐震性が高い



耐震性が低い

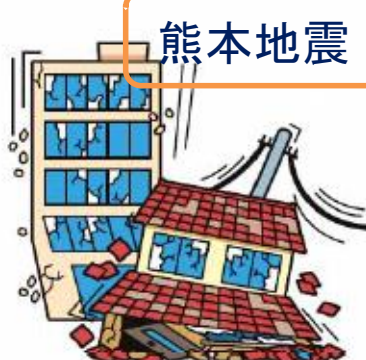
[震度6弱]

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

7



耐震性が高い



耐震性が低い

熊本地震

[震度7]

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

津波対策

津波対策（取るべき行動）《大津波警報》

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	<p>沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。</p> <p>ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！</p>  <p>津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」(気象庁)の1シーン</p>	<p>木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。</p>  <p>(10mを超える津波により木造家屋が流失)</p>
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	<p>標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。</p>  <p>豊頃町提供 (2003年)</p>	
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	<p>海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。</p> 	<p>海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。</p> 

- (1) すぐに避難
 - ▼ 海岸の近くで地震を感じたら、海岸からすぐに遠く離れ、2階建て以上の頑丈な建物(津波一時避難所等)に避難する。
 - ▼ 震源が遠くて揺れがなくても津波はやってくるので、津波警報などが発せられた場合は、すぐに避難する。
- (2) 津波は繰り返し襲来
 - ▼ 津波警報などが解除されるまで、避難を続ける。
- (3) 引き潮がなくても襲来
 - ▼ 「津波の襲来の前には海水が引く」という思い込みは間違いですし、大変危険です。



避難先案内看板と安全ガラスの設置

【津波避難ビル表示板】

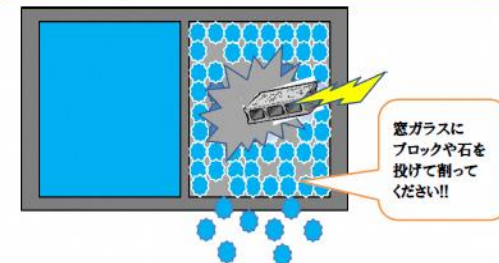
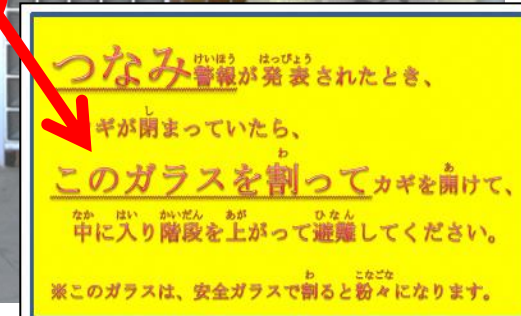
【安全ガラス】



※施設内の避難場所、避難できる時間帯を記載。「津波避難ビル」は5か国語で記載。



※指定したガラスは、割った際に粉々になり、比較的安全に中に入ることができます。



津波災害時の浸水予測

境港市津波防災ハザードマップ

(平成24年5月 作成)《平成30年度 改定予定》

※浸水予測は、鳥取県津波対策検討委員会作成による。

※マップ中の「m」(例 2.3m)は、「標高」です。

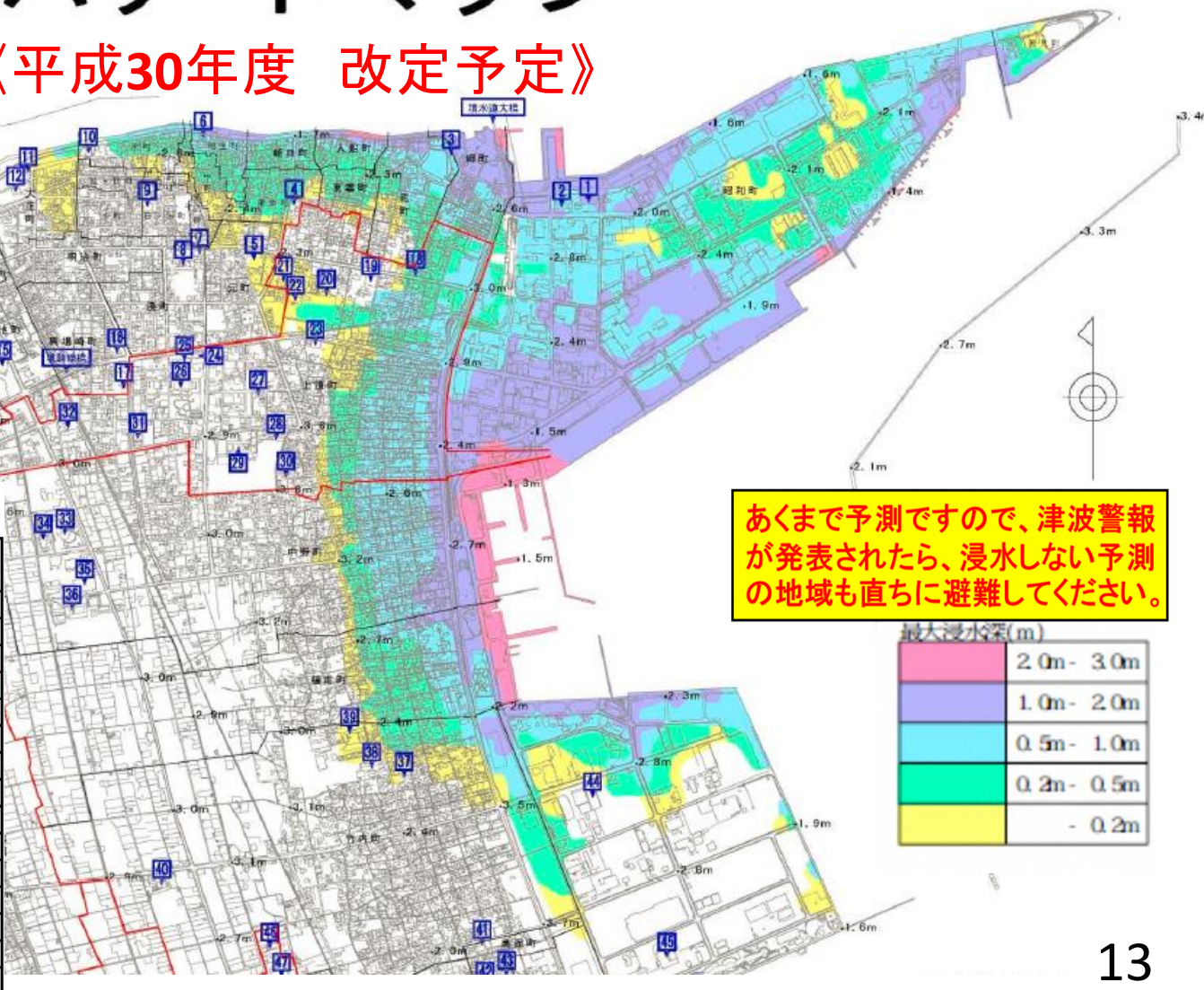
(津波の高さや浸水深ではありません。)

※あくまで予測ですので、無色の地域でも浸水したり、着色してある地域も区分以上の浸水深になる場合もあります。

指定緊急避難場所(津波)一覧

※ 計画収容人員は、一人当たりの面積を1m²として算定。

地区	No	津波避難ビル、場所		避難に供する場所	計画収容人員(※)	避難可能時間	兼指定避難所
		名称	所在地				
境	1	流通会館	昭和町9-33	3階、屋上	911	24時間	
	2	境港港湾合同庁舎	昭和町9-1	屋上	300	24時間	
	3	台場公園高台	花町10	高台	1,950	24時間	
	4	境公民館	湊町1	2階、3階	447	24時間	○
	5	境小学校	湊町27	2階、3階	3,116	24時間	○
	6	共和水産(株)	栄町65	3階、4階	750	営業時間内	
	7	境港海陸運送(株)	大正町43	2階	202	営業時間内	
	8	みなとさかい交流館	大正町215	2~4階、屋上	1,372	24時間	
	9	鳥取県済生会境港総合病院	米川町44	外棟2階会議室、周辺廊下	200	24時間	
	10	鳥取県済生会地域ケアセンター	蓮池町78-1	2階食堂談話室	199	24時間	
	11	市場医院	馬場崎町177	2階、3階、屋上	400	営業時間内	
	12	いきいきケアホーム境港	馬場崎町312	3階食堂	126	24時間	
	13	美哉幼稚園	明治町175	2階、屋上	300	24時間	
	14	県営弥生団地1・2・3	弥生町213	3階以上の階段室	48	24時間	
	15	堀田石油株式会社	弥生町206	2階(廊下、会議室)、屋上	280	営業時間内	



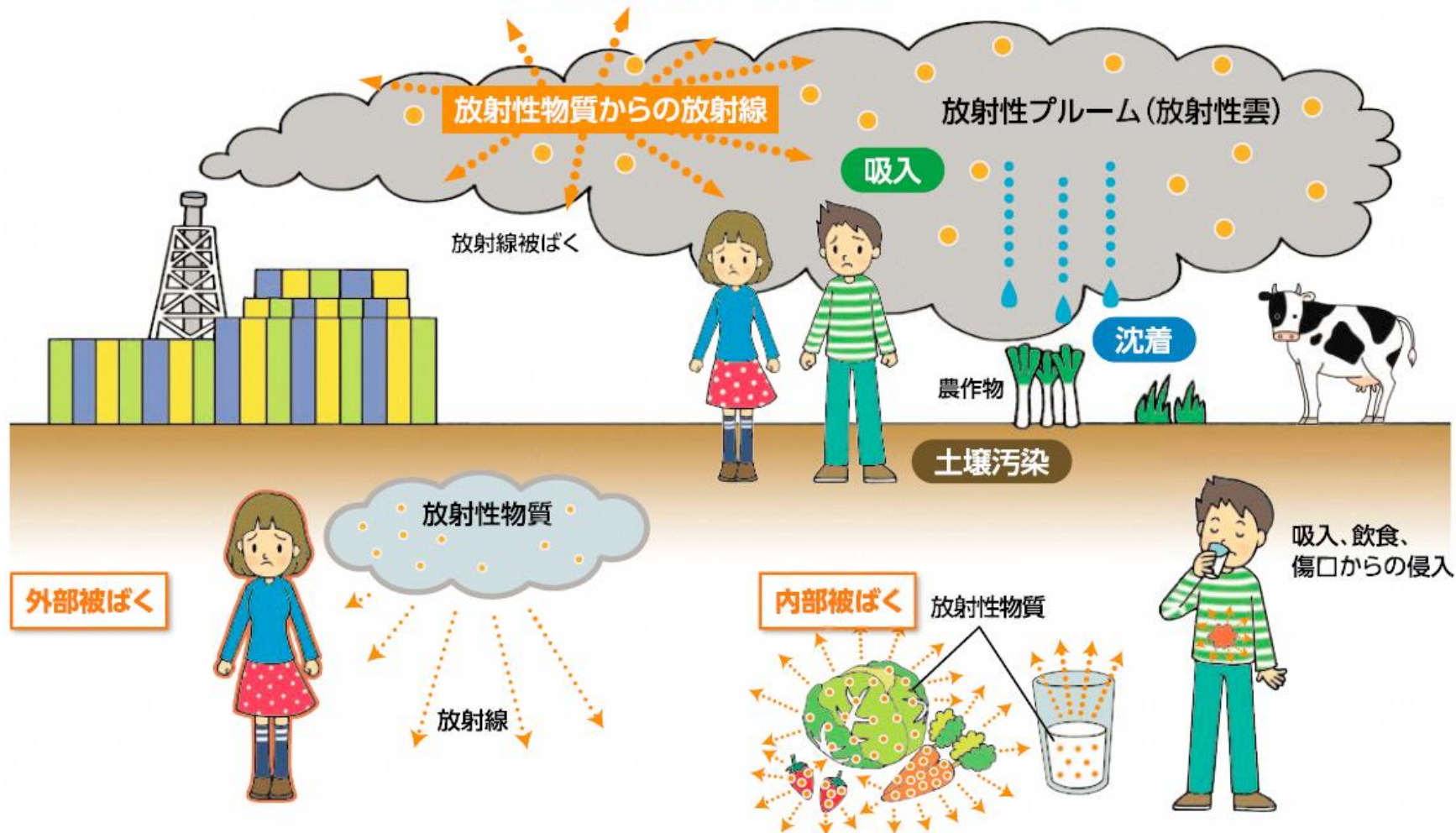
あくまで予測ですので、津波警報が発表されたら、浸水しない予測の地域も直ちに避難してください。

最大浸水深(m)	
2.0m - 3.0m	浸水予測
1.0m - 2.0m	浸水予測
0.5m - 1.0m	浸水予測
0.2m - 0.5m	浸水予測
< 0.2m	浸水予測

原子力災害の特徴

原子力発電所で事故が起きた場合、周辺に放射性物質が放出される恐れがあります。

●原子力災害発生時のイメージ図 ※放射性物質・放射線は目に見えません



原子力災害から身を守る（島根原発との位置関係）



経路 1	国道 9 号沿い
経路 2	米子自動車道・中国自動車道沿い

避難元	県内避難先	避難受入数
境港市	鳥取市、岩美町、八頭町	約 3.6 万人
米子市の一部	鳥取市、倉吉市、東伯郡	約 3.7 万人

屋内退避の方法

屋内退避の指示が出た場合には、速やかに建物の中に入り、ドア・窓を閉めるとともに換気扇等は止めて、窓から離れるなどの被ばくを避ける行動をとりましょう。

また、防災行政無線やテレビ、ラジオ等から、正確な情報を確認しましょう。

【屋内退避の指示が出たら】



住宅などの 屋内に入り ましょう

内部被ばく、外部被ばくを防ぐため、屋外にいる人は自宅や近くの建物の中に入りましょう。



窓などへ目張りをすると効果があります

換気口や窓と窓枠の隙間などに目張りすることで、窓などの隙間から放射性物質が屋内に入り込むことを防ぐ効果があります。



屋内では窓から離れましょう

屋外からの放射線による外部被ばくを低減するため、できるだけ窓から離れ、部屋の中央に移動しましょう。



正確な情報を確認しましょう

テレビ・ラジオ・防災行政無線等による行政機関からの指示などに注意しましょう。

避難の方法（段階的避難の実施）

「広域住民避難計画」では、島根原子力発電所からの距離が近い区域から段階的に避難を行うよう計画しています。

避難には、自家用車のほか、一時集結所から県が手配するバスなどで避難します。



①正しい情報 を入手しま しょう

県・市からテレビ、ラジオ、防災行政無線、広報車などの手段により、避難指示や必要な対応を伝達します。どのように避難するのか、正しい情報を入手しましょう。



②ビニールカッ パ・帽子等を 着用しましょ う

身体の表面の汚染を防ぐため、フード付きのビニールカッパ、長袖ジャンパー・帽子等を着用して肌の露出を防ぎましょう。



③マスクをして 内部被ばくを 防ぎましょ う

放射性物資の吸い込みを防ぐため、マスクをしたり、水で濡らして固くしぼったハンカチやタオルで口や鼻を覆ったりするなどしましょう。内部被ばくを防ぐ効果があります。



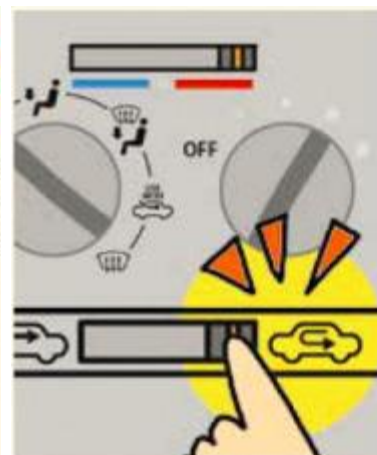
④マイカーや バス等で避 難しましょ う

避難の指示が出たら、マイカーによる避難のほか、市が指定する一時集結所に集合し、準備されたバス等で避難しましょう。また、避難の際は、近所に声をかけましょう。



⑤一時集結所 でも屋内退避 をしましょ う

内部被ばくや外部被ばくを防ぐため、一時集結所でも出来るだけ屋内で待ちましょう。



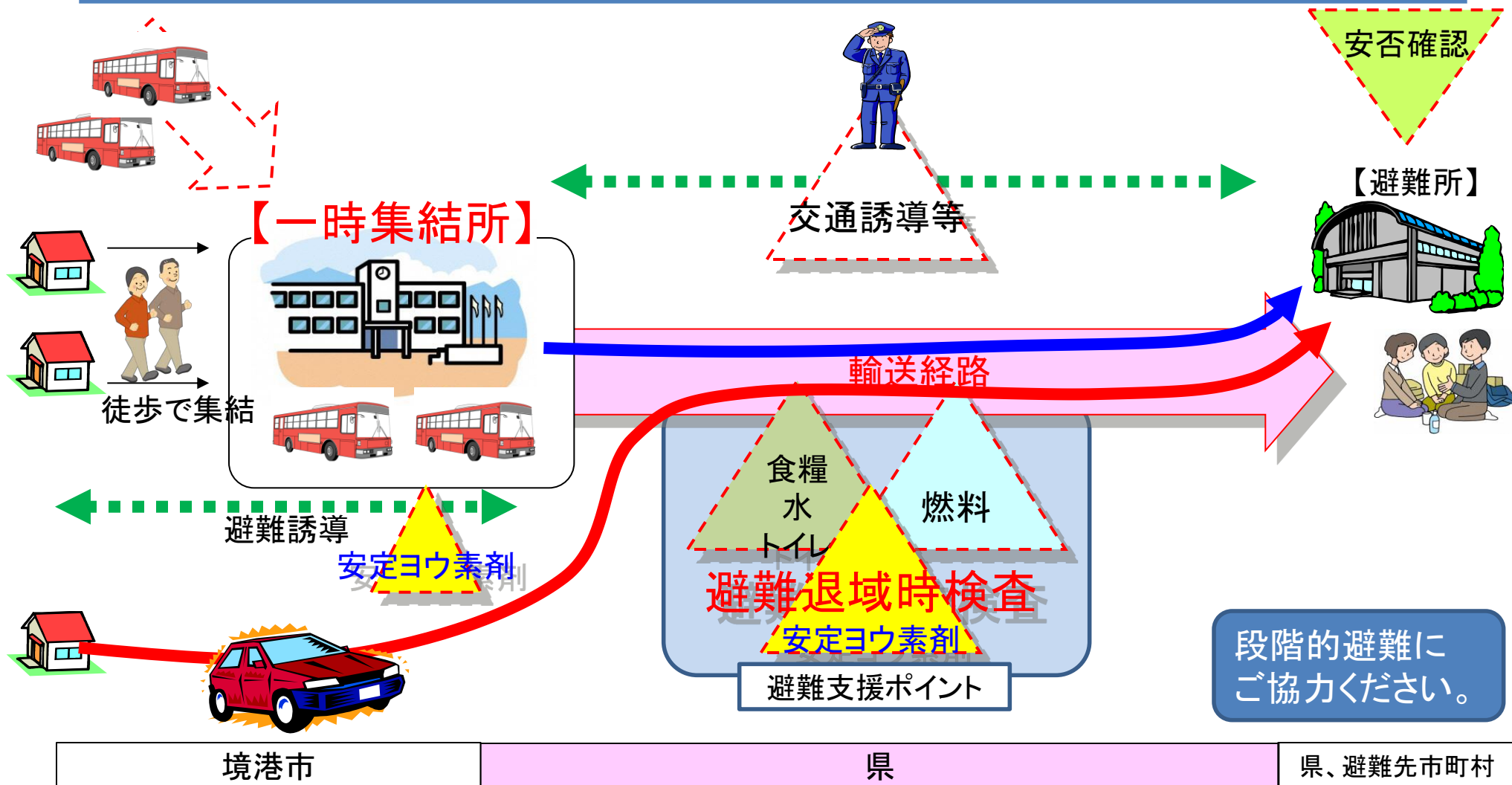
⑥車のエアコン は内部循環 にしましょ う

避難するときには、放射性物質を車内に取り込まないように窓を閉めましょう。また、エアコンは使用を控えるか、内部循環に切り替えましょう。

段階的避難にご協力ください



避難方法（自家用車・バス）のイメージ



※JR、船舶、航空機、ヘリコプター、自衛隊車両等は補完的な手段として計画しています。

一時集結所及び広域避難場所(抜粋)

地区名1 (小学校区)	地区名	一時集結所	避難 経路	避難先		
				施設名	電話番号	市町名
外江 〔とのえ〕 地区	外江4区 外江5区	外江小学校	避難 ①	日進小学校	0857-23-3371	鳥取市
	外江6区 外江7区			日進地区公民館	0857-23-3960	
				鳥取市文化センター	0857-27-5181	
	外江8区 外江9区 西工業団地			人権交流プラザ(中央人権福祉センター)	0857-24-8241	
				明德小学校	0857-23-5661	
		明德地区公民館		0857-23-0988		
	外江10区	富桑地区公民館		0857-27-4585		
		富桑小学校		0857-22-4239		
	外江12区	第三中学校		富桑体育館	0857-27-4585	
				城北体育館	0857-20-3373	
外江3区	外江公民館	城北小学校	0857-23-0381			
		中ノ郷体育館	0857-21-5393			
		中ノ郷小学校	0857-26-3536			
外江11区		南中学校	0857-22-3617			
		美保小学校	0857-22-4939			
		中之郷地区公民館	0857-21-5393			
		稲葉山小学校	0857-22-8511			
		稲葉山地区公民館・稲葉山体育館	0857-24-2542			
		美保地区公民館	0857-26-3981			
		東中学校	0857-22-3017			
		岩倉体育館	0857-22-5621			

弾道ミサイル対策

弾道ミサイルの発射状況等(H29)

日付	挑発の概要	場所	弾種	飛翔距離
17.02.12	弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城(クソン)付近	固体燃料を使用した新型の地上発射型弾道ミサイル(推定)	約500km
17.03.06	「スカッドER」と推定される弾道ミサイル4発を発射	西岸・東倉里(トンチャンリ)付近	スカッドER(推定)	約1,000km
17.03.22	弾道ミサイル1発を発射	元山(ウォンサン)付近	分析中	発射後数秒以内に爆発、失敗と推定
17.04.05	弾道ミサイル1発を発射	新浦(シンポ)付近	分析中	約60km
17.04.16	弾道ミサイル1発を発射	新浦(シンポ)付近	分析中	発射直後に爆発、失敗と推定
17.04.29	弾道ミサイル1発を発射	北倉(ブクチャン)付近	分析中	約50km離れた内陸部に落下、失敗と推定
17.05.14	弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城(クソン)付近	IRBM級の新型弾道ミサイル(推定)	約800km
17.05.21	弾道ミサイル1発を発射	北倉(ブクチャン)付近	新型弾道ミサイル(17.02.12と同型)(推定)	約500km
17.05.29	弾道ミサイル1発を発射	元山(ウォンサン)付近	スカッドを改良した新型弾道ミサイル(推定)	約400km
17.07.04	弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城(クソン)付近	ICBM級の新型弾道ミサイル(推定)	約900km
17.07.28	弾道ミサイル1発を発射	舞坪里(ムピョンニ)付近	ICBM級の新型弾道ミサイル(17.07.04と同型)(推定)	約1,000km
17.08.26	ミサイル又はロケットを複数発射	旗対嶺(キテリョン)付近	分析中	約250km(韓国合参)
17.08.29	弾道ミサイル1発を発射	順安(スナン)付近	IRBM級の新型弾道ミサイル(17.05.14と同型)(推定)	約2,700km
17.09.03	6回目の核実験を実施	豊溪里(ブンゲリ)		
17.09.15	弾道ミサイル1発を発射	順安(スナン)付近	IRBM級の新型弾道ミサイル(17.05.14及び08.29と同型)(推定)	約3,700km
17.11.29	弾道ミサイル1発を発射	平城(ピョンソン)付近	ICBM級の新型弾道ミサイル(17.07.04及び07.28とは異なる型)(推定)	約1,000km

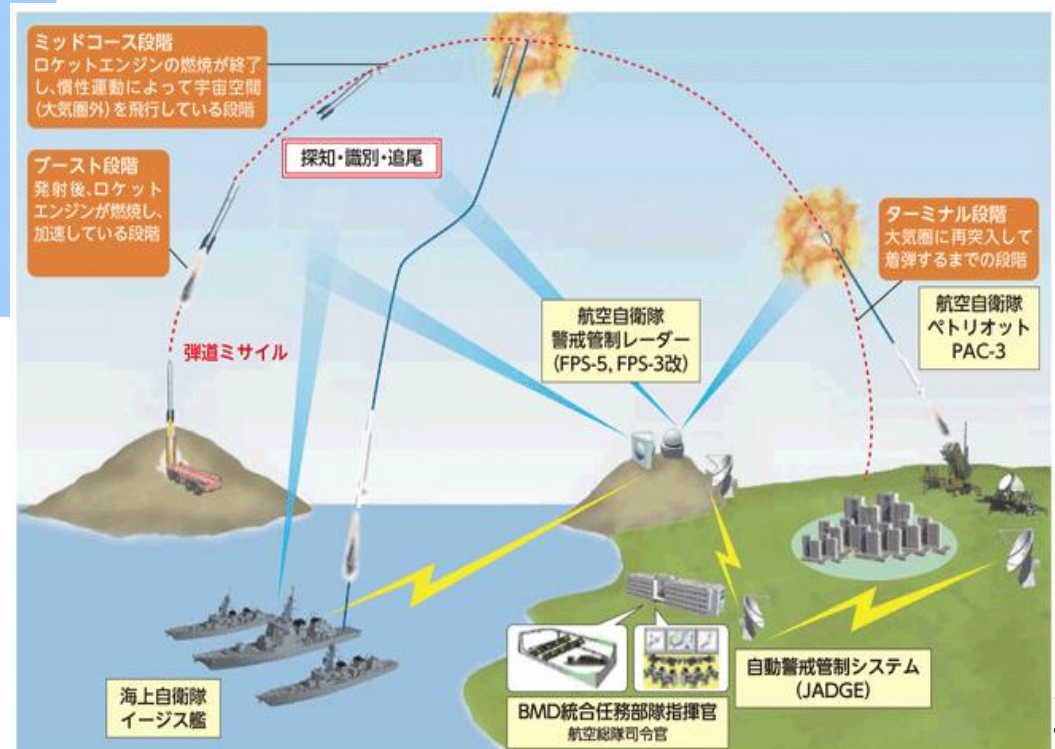
弾道ミサイル発射とミサイル防衛

【9/15発射 弾道ミサイルの飛行イメージ】



- ◆06:57 ミサイル発射
- ◆07:01 Jアラート放送
(東北・北海道)
- ◆07:06頃 北海道上空通過
- ◆07:16頃 約3700キロ飛行し
着水

【弾道ミサイル防衛のイメージ】



弾道ミサイル落下時の行動について

★弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。

ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

近くの建物の中か
地下に避難。

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くなければ、それ以外の建物でも構いません。

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。



ミサイル発射 Jアラートの情報伝達

①ミサイル発射情報・避難の呼びかけ
 「ミサイル発射。ミサイル発射。
 北朝鮮からミサイルが発射された模様です。
 建物の中、又は、地下に避難してください。」

I 日本に落下する
 可能性がある場合

II 日本の上空を
 通過した場合

III 日本の領海外の
 海域に落下した
 場合

②直ちに避難することの呼びかけ
 「直ちに避難。直ちに避難。
 直ちに建物の中又は地下に避難して下
 さい。ミサイルが落下する可能性があ
 ります。直ちに避難して下さい。」

②ミサイル通過情報

②落下場所等の情報

③落下場所等についての情報

④追加情報

近畿	当該地域	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
	関連地域	福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、 鳥取県 、 島根県、岡山県、広島県、香川県、徳島県
中国	当該地域	鳥取県 、島根県、岡山県、広島県、山口県
	関連地域	静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、 奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、 熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
四国	当該地域	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
	関連地域	兵庫県、和歌山県、 鳥取県 、島根県、岡山県、広島県、山口県、 福岡県、大分県

弾道ミサイル落下時のQ&A

Q1:なぜ建物の中又は地下へ避難するのですか。

A1:ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるためには建物(できれば頑丈な建物)の中又は地下(地下街、地下施設)への避難が有効だからです。



Q2:建物内に避難してから気を付けることはありますか。

A2:爆風で壊れた窓ガラスなどで被害を受けないよう、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

Q3:弾道ミサイルの情報が伝達されたとき、自動車内にいる場合はどうすればよいですか。

A3:車は燃料のガソリンなどに引火するおそれがあります。車を止めて近くの建物の中又は地下に避難してください。周囲に避難できる建物などが無い場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守ってください。

Q4:「ミサイルが落下した可能性がある」と情報伝達があった場合は、どうすれば良いですか。

A4:続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難して下さい。弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なります。そのため、テレビ、ラジオなどで情報収集に努めてください。

<もし、近くにミサイルが着弾した場合>

①屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い室内の部屋または風上に避難してください。

②屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉してください。

メモ欄

ご清聴ありがとうございました。